

第8回 経営パラリンピック大会

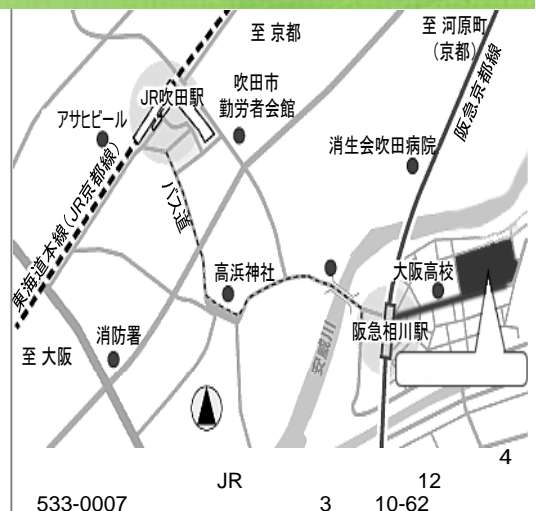
～ 福祉と経営の融合 ～



“9.21(月)敬老の日は”
経パラ劇場へ!

大阪成蹊大学 北館3階 The Plum Hall
13:00～17:30 (お弁当販売・バザー開始/ 12:00～)

事前申し込み不要 参加費は**無料**
相川駅と大学には車椅子用エレベーターがあります。



第8回 経営パラリンピック大会

大会テーマ：福祉と経営の融合 ～すべての人々が幸せになれる社会を目指して～

～経営パラリンピック大会とは～

福祉事業所において、障がいのある人々が、高い集中力と自立の精神から心を込めて作り出す商品やサービスが世の中から喜ばれると同時に、働く喜びや生き甲斐を見出している活動、すなわち、「福祉と経営の融合」を実践している優れた活動をピックアップして、そこにおける経営の知恵・工夫・感動を発表して頂いて、参加者がお互いに学び合い、感動を共有する大会です。学生主体、現場主義と思いやりの精神に徹した、産学協働活動です。

お蔭様で、今年で8年連続開催、昨年までのご発表事業所数計43社、ご参加者数は計1890名です。

～第8回大会は～

第8回「経営パラリンピック」大会は、平成21年9月21日(月・敬老の日、13時～17時)、大阪成蹊大学(3階フラムホール)で開催です。サブテーマは、「誰もがしあわせになれる社会を目指して」と設定させていただきました。「障害者自立支援法」の成立をはじめ経済大不況等、福祉事業所を取り巻く環境はこれまで以上に経営に対する発想の転換を迫っています。その対応には相当の困難が伴います。問題解決に少しでも役に立つ、ピンチをチャンスに変えていく、みんなに喜んでいただける、そんな大会にしようと、学生はお客様第一と現場主義の精神で走り回っています。

◆プログラム◆

11:30	バザー販売開始	15:25	社会福祉法人青葉仁会
13:00	開会の辞	15:55	イトアンド株式会社 枚方工場
13:15	基調講演 ヤマト福祉財団常務理事 早川雅人氏	16:25	記念品贈呈
14:00	ひらかた・にじ福祉工場	16:30	YKK 六甲(株) 江口敬一社長による総評
14:40	小規模作業所 のぞみ工房	16:40	当委員会 岸裏理事長のご挨拶
15:10	= 休憩 =	16:50	閉会の辞
		17:00	ご意見御頂戴会)

◆発表事業所紹介◆

【社会福祉法人であひ共生舎 ひらかた・にじ福祉工場】
(障害者就労継続支援A型)

発表テーマ **「おいしいから売れるんだ!
安さも元気も届けるんだ！」**

- ・枚方市と連携。利用者が自立した日常生活を営むことが出来る地域社会づくりを目指す。
- ・事業は弁当・給食の調理・盛り付け・配送・容器洗浄等。
- ・多彩なメニュー開発、多数の販売先開拓、その複雑な組み合わせを正確・迅速にこなす総合力。
- ・一人ひとりの知識・能力の向上に向けて、個別支援計画のもとに、調理員・職員・利用者による、日ごろの努力・ハートフル信頼関係・チームワークの積み重ねがピンチをチャンスに変えていく。
- ・3年間の実習の間に一般企業イトアンド等に就労移行できる訓練と実績が励みになっている。

【社会福祉法人青葉仁会】(奈良県奈良市柚ノ川町)

発表テーマ **「就労から生活まで広地域で多角的支援!
レストランもユニーク！」**

- ・養護学校卒業生の一助になりたいという強い志からスタート。「内に閉じこもるな」を基本に就労支援から生活支援まできめ細やかな商品・サービス・市場を開発の多角経営。24H365日広い地域に存在価値。
- ・入所授産・通所授産・更正施設・グループホーム。健康管理と栄養管理をベースに各個人に応じた能力向上処遇3原則-自己決定力の尊重-仕事・余暇・食事・残存能力開発-可能性の追及、継続性-家庭での生活形態を継続。受入条件はない。
- ・物づくり(人と自然にやさしい)と人づくり(障がいは重くても日中は作業)の知恵と工夫を中心に発表。

【小規模作業所のぞみ工房】(三田市波豆川)

発表テーマ **「生きる力と仕事のエネルギー、
笑顔が源泉! 笑顔が最高！」**

仕事や工賃のことよりもまず集まる所よしとしてスタートした。来るだけでもたいへん。あくせくせすのんびりやろうという思いが根本にある。利用者・職員みんないつもニコニコしている。笑顔が最高ということが実感できる。自分は何をしなければならぬか、考えるようになるまで手助けしないで待つと、トライが始まり、出来ることや出来る人数が自然と増える。一人ひとりの困っていることときめ細かくとことんつきあい、やさしさと厳しさを上手くミックスする。作業だけして帰るのでなく、色々とやれる楽しみがやる気が変わっていく。のぞみ太鼓をはじめイベント企画の腕前はプロ並み、お金のやりくりセンスも抜群である。

【イトアンド株式会社 枚方工場】

発表テーマ **「障がい者の協働化・戦力化のコツここにあり!**
(一般企業。“大阪王将”で知られる)

- ・地域社会貢献が社長方針として打ち出され、その柱の一つとして障がい者雇用に取り組むことになった。
- ・その機会を逃さず棚橋工場長が手を上げて、中心人物として本気を出して取り組んだ。
- ・一般企業が、にじ福祉工場等から障がい者を受け入れて働く機会をつかった。手を抜かずに一生懸命働く姿を見て従業員の意識が変化、さらにその能力の素晴らしさに気づいて協働体制が出来ていく。その間におけるさまざまな試行錯誤から生まれる障がい者の育成・戦力化のコツ、円滑な受け入れ体制の作り方などについて普遍的な知恵が生み出されている。やればできる・やればわかる・元気をもらうことが共有できる。

NPO

“ ” OB OG

NPO

PHP